

● 診療科の特色

1. 各消化器癌に対する最新かつ効果的な治療を行う。
2. エビデンスに基づいた治療を基本にするとともに、最新の臨床試験にも参加して患者に最も適した治療を選択する。
3. 治験調整医師を務める EBM 推進のための大規模臨床研究:切除不能進行・再発小腸癌患者に対するベバシズマブ併用 FOLFOX 療法の第 II 相多施設共同二重盲検ランダム化比較試験(医師主導治験)症例集積が終了。現在、1年間の追跡期間に入っている。
4. 希少腫瘍治療にも特に力を入れて、診療を行っている。
5. がんゲノム医療を積極的に推進し、患者に最適な治療方法を検討している。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 17名

	疾患	患者数
1	大腸ポリープ	8
2	肝細胞癌	2
3	FAP	2
4	大腸癌	2
5	十二指腸癌	1